

○肺がんドックとは？

肺がんを早期発見するためのドックです。

肺がんの主要原因は喫煙ですが、禁煙した後も長年にわたり過去の喫煙の影響が残ると考えられています。肺がんドックでは、胸部X線検査だけではわからない小さながんを発見できる胸部CT検査と、痰にがん細胞が含まれていないか調べる喀痰細胞診を組み合わせて行います。

○肺がんリスクの高いひと

- ・ 喫煙歴がある、家族に喫煙者がいる
- ・ 家族に肺がんの既往歴がある

○検査の料金

21,000円 （税別）

喀痰細胞診の喀痰はとれてもとれなくても料金の変更はありません。

○検査の内容

◆胸部CT検査

胸部CT（Computed Tomography：コンピュータ断層撮影）検査とは、X線で撮影した体内の様子をコンピュータで解析し、胸部を断面図にして臓器の様子を見る検査法です。

数秒の息止め時間で撮影できます。

胸部X線検査と胸部CTとの違い

どちらもX線を使用しますが、X線撮影は平面的な画像なのに対し、CT検査では、肺の立体的な構造の情報が得られるため、X線検査では見つけにくい早期の小さながんや臓器の奥に隠れている病変を見つけることが可能です。

ただし、X線撮影と比較して放射線の被爆量は多くなります。

ペースメーカーなど体内に金属が入っている場合には受けられないことがありますので、事前にお知らせ下さい。

◆喀痰細胞診

痰の中にがん細胞が含まれているかどうか、顕微鏡で調べる検査です。

気管支や気管の内側にがんができると、はがれ落ちたがん細胞が痰の中に含まれていることがあり、その痰を顕微鏡で調べ、がん細胞を探します。

喉頭がん、咽頭がん、口腔がんなど肺以外のがんを見つけられることがあります。

痰の上手な採り方

朝いちばんの痰を採ります。咳払いをして、なるべく喉の奥のほうから、直接容器に痰を吐きます。

→なるべく唾液が入らないように気をつけてください。唾液は透明で、痰には色味がついています。唾液のみの場合は検査対象になりません。